

帯広市立帯広第四中学校
保護者・生徒各位

帯広市立帯広第四中学校
校長 春山 俊裕
生徒指導部

改めて

スマートフォン等の利用の注意について

初秋の候、帯広第四中学校に関わる皆様方におかれましては、益々、ご清祥の事とお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に特段のご理解、ご協力を頂き心より感謝申し上げます。

さて、近年スマートフォンの所持率の増加(本校でも8割以上)、低年齢化が急速に進んでいることは周知の通りです。その中で帯広市内でもその利用の仕方からいくつかの問題点が散見され、特に SNS (LINE、インスタグラムなど) によるトラブルが多発しています。本校においても例外ではありません。つきましては、再度スマートフォン等を所持する際の注意点やご家庭で決めて頂きたい約束事、お願いについてお知らせいたします。何卒、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1. 家庭で決める約束事の参考

① ○○時以降禁止

特定の時間になったら親がスマホを管理します。スマホの使用は何時までと決め、それ以降は親が必ず預かります。目安は21時です。

② アプリに関して

パスワードやアプリのダウンロードに必要なIDは、親が管理します。必要なアプリがあれば、確認をしてから、親がダウンロードします。

③ スマホの置き場

スマホを触る、置く場所はリビングとします。子どもにも一定の自由を与えつつ、有害サイトへのアクセスの防止や利用時間についても親が管理します。

④ 食事中禁止

食事中は家族間のコミュニケーションを大事にします。食事中のスマホ禁止は子供だけでなく大人も同様です。

保護者の「立場の確立」と「責任」

- *スマートフォンを与えたのは保護者
- *契約者は保護者
- *毎月の使用料を払っているのは保護者
- *親の願い

⇒ **きちんと子どもに伝える**

スマートフォンの所持=家庭の責任

- *使い方によってメリットとデメリットがある
- *メッセージを発信・受信することの責任
- *アプリの課金
- ⇒ 社会のルールを「伝える」「指導する」
- ⇒ 保護者の仕事

① ○○時以降はスマホ禁止

20時でも20時半でも構いませんが、夜の特定の時間になったら親がスマホを管理して下さい。中学生といってもまだ子供です。例えばグループラインで会話している途中で自分だけ抜けるなど、できないでしょう。あらかじめスマホを持たせる前に決めた時間以降（目安は21時）は親にスマホを預けることを約束させ、友達にもそう伝えさせます。そうでもしないと自分の部屋に持ち込んで夜な夜な触ってしまうでしょう。スマホの使用は夜何時までと決め、それ以降は親が必ず預かります。深夜までスマホで連絡をとり合わなければならない友人、親に隠れて付き合わなければならない友人は健全な関係とは言えないでしょう。

② ウェブ閲覧制限やパスワードの管理

ウェブサイトの閲覧には制限をかけましょう。そのような機能はスマホには必ず用意されています。また管理のためにも、パスワードやアプリのダウンロードに必要なIDは、親が管理しなければいけません。何かダウンロードしたいアプリがあれば、その都度確認をしてから、親がダウンロードするようにしましょう。勝手にダウンロードできなければ、ゲームをアプリに入れられることはありませんし、課金されることもありません。LINEでは「友だち自動追加」「友だちへの追加を許可」を「オフ」にするなど制限できるようにする工夫もできます。

③ スマホの置き場はリビング

例えば、スマホのできる時間を「1日1時間まで」と決めたとしましょう。子供が一人で部屋にスマホを持ち込んで、それを守れると思いますか？ゲームやYouTubeなど、中学生の子供には魅力的なことがたくさんあります。スマホを触る場所はリビング、置く場所はリビングとするのが一番よいです。基本的にインターネットの使用は自由にして構わないがスマホに触れるのはリビングだけとなれば、子どもにも一定の自由を与えつつ、有害サイトへのアクセスの防止や利用時間についても親が管理することができます。「自由＝好き勝手にできる」ではありませんし、それを教えるのは大人の責任です。

④ 食事時のスマホは禁止

スマホの弊害として会話が減るという懸念があります。家族で食事をする時は、団欒時間でもあるので、食事中はスマホを触らないと決め、家族間のコミュニケーションを大事にするべきです。食事などで外食に出かけると中高生くらいの子供がスマホばかりしていて、親と全く会話をしていない光景を見かけたことはありませんか？なお、食事時のスマホ禁止は子供だけでなく大人も同様です。

2. 家庭の責任

スマートフォン（携帯電話・タブレットなどを含む）を所持することは、各ご家庭に責任が生じることと再確認してください。本校でも頻繁に生徒への指導を行なっていますが限界があります。スマホは正しい使い方ができれば、安全管理や生活、学習に大きなメリットがあります。その反面、使い方を間違えると人間関係への悪影響、生活の不規則化、学習への意欲及び成果の低下、などのデメリットがあります。それを「伝える」のと「指導する」のはスマートフォンを与えた保護者です。また、「SNSで嫌なこと書かれた」と学校に相談された時、学校で解決できることとできないことがあります。一番は当事者同士で話し合い、解決することです。場合によっては警察などの機関に相談することも必要でしょう。スマホを持たせるということは『覚悟』が必要です。近頃はSNSでの書き込みでの誹謗・中傷のニュースが後を立ちません。被害者はもちろん加害者にならないよう、ご家庭でもご指導ください。「うちの子は大丈夫。」信じることは大切ですが、それだけでは子どもを守ることができません。もう一度、お子様とお話ください。どうぞ宜しくお願い致します。